

森かれん 森かれん公式サイト Facebookにて活動配信中!



- 1990 京都府立医大病院に生まれる 星の子スイミングスクールで水泳に熱中!
- 2002 翔鸞小学校 卒業 吹奏楽(チューバ)を始め、音楽に没頭 中学2年生の時、生徒会長を務める
- 2005 衣笠中学校 卒業 吹奏楽と文化祭に全力で打ち込む。
- 2008 朱雀高校 卒業 社会問題への関心が強く、学業にも熱を入れる
- 同志社大学政策学部へ進学 政治、経済、法律を学ぶ傍ら応援団へ 身体と精神力が鍛えられました。
- 同志社大学応援団に入団 卒論発表会では、ゼミ代表に抜擢!
- 2012 大学卒業後、(株)堀場製作所へ入社 半導体部門の営業として 全世界のエリアを担当。 2年連続部門予算達成に寄与
- 2014 地域政党京都党 上京区支部長就任 「京都を未来に誇れる街へ変革したい、 何度も訪れたい街にしたい」との想いで一念発起。 京都市政に向けて上京区で挑戦中!

星座/干支 みずがめ座/午年
好きな作家 辻仁成・近藤史恵
好きな言葉 向き不向きよりも前向き
趣味 ロードバイク(Anchor)
特技 楽器演奏

森かれん、いつでも駆けつけます!

TEL:075-366-6341 / mail:karen_mori_0211@yahoo.co.jp

- 上京区にお住いの皆様、お困りごとがありましたらご相談ください!
- 地域でのイベントなどお手伝いできることは何でもやります!
- ご近所さんの茶話会などお気軽に呼んでください!



サポーター大募集!!

- 上京区でポスター掲示できる場所をご紹介ください
- 上京区に住んでおられる方をご紹介ください
- ボランティアスタッフも随時募集しております!

カンパご協力へのお願い

活動資金が不足しています。 振込先名義 森かれん後援会代表森かれん
切手、文房具なども大歓迎です。 京都銀行西陣支店 普通5078800

<http://morikaren.com/>

森かれん後援会事務所
〒602-0024 京都市上京区上立売町8-9-2F (同志社大学新町キャンパス東隣)

後援会通信第4号



京都の新しい選択

京都党 上京区支部長

平成生まれ京都市政へ挑戦!

翔鸞小、衣笠中、
朱雀高校 卒業。

25歳

森かれん

先が見えない、に立ち向かう

「子どもや孫たちが京都でずっと暮らし続けることができるのだろうか。」上京区の皆さまからは未来に対する不安を声が多く寄せられます。なぜ未来に対し不安なのか、「今の社会のシステムがそのうち機能しなくなるのではないか」ということ、にうすうす気が付かれているからです。

平成に年号が変わって、もう20年以上経過し平成生まれが被選挙権を持つ時代がやってきました。

すでに健康保険制度や年金といったシステムが作られたときと違い「前提」が変わっているということを受け止め、発想の転換させなければなりません。社会全体が機能不全に陥る前に、時代に応じた持続可能なシステムを再構築することで「先が見えない」に立ち向かいます。

森かれん

国政を志向せず、ただ京都の未来と心中する覚悟で集った平均年齢32歳の青年政党。与党でも野党でもない是是非非の立場で挑む。子供にツケを残さないを合言葉に強靱な行政改革・財政再建路線を取る。

党メンバー

最高顧問
堀場雅夫 株式会社堀場製作所最高顧問

顧問
渡邊隆夫 渡文株式会社代表取締役社長
高木壽一 元京都市副市長

政策顧問
村田晃嗣 同志社大学教授
風間規男 同志社大学教授
溝部英章 京都産業大学法学部教授
小川顕彰 弁護士

応援団長
河内誠一 マールブランシュ創業者

所属議員
村山祥栄 (代表/左京区)
佐々木隆吏 (中京区)
江村理紗 (右京区)
中島拓哉 (南区)

府・市候補予定者総勢15名!

公務員給与引き上げにNO!

民間企業で65歳までの雇用が義務付けられたことを機に、京都市でも再任用で65歳まで雇用を継続することとなった。それに伴い、定年後の給与を最大で年収350万円引き上げる提案が盛り込まれた。一方、新卒採用は縮小。若者にしわ寄せがくる公務員厚遇に真っ向から対決。

ごみ収集職員採用にNO!

民間に委託するほうが安く、サービスも良い、ごみ収集などの現場作業。京都市では既にこのような現場作業の公務員の採用は凍結しているにもかかわらず、突然採用を再開。時代に逆行するムダな行為として再凍結を図る条例案を提案した。

同和関連施設の新設にNO!

同和行政は終わったと言いながら、未だ続く土地買収と住宅建設。崇仁地区の改良住宅(旧同和地区向け市営住宅)の新規建設について、「同和事業の延長はすべきではない」とのスタンスから、京都市会の中で唯一、明確に反対した。

二条城定休日制定にNO!

京都市が所有する二条城。閑散期は毎週火曜日を定休日にとしようと文化庁から指導があった。文化財保護が名目だが京都の寺院はどこも無休。観光都市京都としてあるまじき条例改正案に真っ向から反対。国に屈するなと論陣を張った。



京都党政策目標
2015

世界一、住みたい街を造る

政治家はよく「住みやすい街を造ります」と提言します。

税金を下げたり、インフラを整備すれば住みやすい街は完成します。

しかし、隣の街が同じように税金を下げてしまえば都市としての価値は急速に失われます。

「世界一、住みたい街」それはほかの都市が真似できない街づくりです。

常識にとらわれない価値観を、仕組みを変える

京都党の政策目標はさらに進化しています

今月のテーマ 発想の転換

京都のビジョンを示す! 双京構想と副首都構想について特集します。

京都の復権! 「京都を再び都に」

再び京都を都にし、東京と京都のふたつで日本を引っ張る双京構想。京都は言うまでもなく悠久の歴史に育まれた都です。古都? 今もなお、都であるべきです。明治2年、どさくさまぎれに実質遷都が行われました。その結果、首都を定める法もこの国には存在しません。当時の政府案は、京都と江戸(東の京へ改名)の両都制の実現でした。それがいつの間にか忘れられ、東京が中心となりました。我々は、政治経済は東京、文化は京都という両都制の再興を目指します。

明確に法で首都と定義させ、日本文化中心地としての発展を目指します。

副首都構想の実現

東日本大震災以降、首都圏直下型地震の懸念は年々高まっています。その際の首都機能のバックアップを一時的に担う副首都(常設型ではない)構想は国家戦略として極めて重要です。その候補の1つに北摂が挙がっています。そこで多くの施設やホテルを抱える京都府が文化、皇室、大学、外交などを中心に副首都の一角を担うべく、即時に名乗りを挙げ大阪と連携し、誘致に向け動き出すべきです。